

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2023年 12月 1日

事業所名 ままポケット

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		基準に合ったスペースを確保していますが、活動内容によっては地域の公園などを利用しています
	2	職員の配置数は適切である	6		基準に合った配置をしています。必要な研修を受けています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		トイレの段差を改善しました
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		職員会議等を行い、業務改善について話し合っている。個別の目標を設定し職員同士連携し取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		毎年評価と率直なご意見をいただき、職員と精査し取り組んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		NPO法人mamaファミリーのホームページで公開しています
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	現状第三者委員会を設けていません。今後検討いたします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		施設内研修を行ったり、外部の研修にオンラインで参加するなどしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		少なくとも半年に1回のニーズ調査を行い、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		標準化されたアセスメントツールを使用しています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		月単位で計画しています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		訓練上固定化されるものもあるが、季節行事、新しい素材を検討し取り入れるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		平日は個別課題、集団活動を主にしています。土曜日、長期休暇は外出、食育等平日では取り入れにくい活動を積極的に取り入れるよう設定しています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		個別、集団での活動を適宜組み合わせ計画しています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	職員の勤務時間が異なるのが難点ですが活動内容など事前に職員が分かるよう伝達しています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	送迎、勤務時間の兼ね合いで当日の振り返りは全員では出来ませんが、前日の様子、必要事項などは翌日に伝達出来るようにしています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		記録をした写しをその日に保護者にも渡しています。又、事業所でも検証・改善に繋げています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		モニタリングを行い計画の見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6		ガイドラインに基づいた支援を行っています	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達支援管理責任者が参加しています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		情報共有、メール等を活用し適切に行っています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6	現状医療的ケアの対象となる児童はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等を卒業したタイミングで利用開始をした対象児の情報共有を行っています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		現在の所、移行した事例がありません
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	今後も機会があれば研修に参加を検討します
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		現状はありませんが機会があれば参加を検討します
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2	研修には出来る限り参加しています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳と送迎時に状況を伝え、必要に応じ保護者と連絡を取っています
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	保護者から相談を受けた場合に限らず、支援中に気になったことがあれば状況や対応を伝えるようにしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		利用契約時にご説明しています。運営規定については、常時、閲覧可能としています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		必要に応じて書面・面談等で相談を受けたり、保護者様のご都合や心身の状態に合わせて対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	近年は状況的に難しい状況でしたのでお声掛けが出来ておりませんでした。今後、保護者の方のご意見を伺いながら検討いたします
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		ご意見お申し出を頂いた場合は迅速かつ適切に対応いたします
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		SNSと会報で定期的にお子様の様子を発信しています
	35	個人情報に十分注意している	6		書類の保管は外部に出ないよう管理しています。写真は保護者の同意を頂き使用しています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		連絡帳への記入や分かりやすく説明する工夫をしています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	感染症予防の観点や、児童のプライバシーの点から現状は実施はしていません

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	各マニュアルは策定しています。定期的に更新や改善を行い周知していきます。事業所の見えやすい所に設置しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	予定を立てて行っています。児童は毎月1日に活動の中で行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	毎年2回は研修を行っています。毎月1回自己チェックを行っています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	身体拘束を行った事はないが身体拘束に関して保護者に説明し身体拘束についての指針の配布をし、同意書を頂きました。職員にも周知しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	アレルギーがある場合は保護者から細かく内容を確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	書面を残し職員で共有しています。今後は更に会議で精査し改善して行きます